



文書伝道部ニュース

4月号

2023.4.13 発行

テーマ聖句 「御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても勵みなさい。とがめ、戒め、勵ましなさい。忍耐強く、十分に教えるのです。」 テモテの手紙 第二 4章 2節

キリストは、オリブ山の高いところから、世界と各時代を見渡された。彼のみことばは神の恵みの訴えを軽んじるすべての魂にあてはまる。キリストの愛をあざける者よ、主はきょうあなたに語られる。平和をもたらす道を知っているべき者は「あなた」(ルカ 19:42)である。・・・キリストは、エルサレムがいつまでも頑固に悔い改めないことを予見された。しかしすべての不義、しりぞけられたあわれみのすべての結果は、エルサレム自身の門口にあった。同じ道を歩むすべての魂にとっても同様である。(『各時代の希望』第 64 章「滅ぶべき民」文庫版下巻 38 ページ)

今月の言葉

新年度を迎えた生徒や新社会の方々が新しい歩みを始めました。「頑張れ、撞けるな」とエールを送りたいと思います。文書伝道においてもマスク生活から解放され新規訪問ができる時期を迎えました。チャレンジ精神で訪問をしていきたいと思います。今週はものの塔(エホバの証人)からアドベンチストの信仰に入られた方の証を掲載します。

大阪センター教会 Yさんの経験

ものの塔で 26 年過ごしていた Yさんは、ある時聖書を読むために図書館へ行きました。この時は仕事途中だったので、ものの塔の聖書をバッグに入れていませんでした。ものの塔以外の聖書を読んではいけないのですが、他の証でヨハネによる福音書を読みました。この出来事が、目が開かれるきっかけとなりました。

ヨハネ 1 章に「言は神であった」とありました。エホバの証人では言葉は「神のよう」であって、イエス様は神の子どもであると教えられていました。ドキドキしながらも他の聖句を調べていくと、今まで微かに感じていた、いくつかの疑問が解けていきました。さまざまな箇所で聖句が巧みに書き換えられていました。本当のことを知りたいという願いを持つことは正しいことで、禁止する方が間違っていると思いました。色々調べていくうちに、自分がマインドコントロールの中にいたことが分かりました。一つ一つ証拠を集めようにしてマインドコントロールを解いていきましたが、解けたと思った時には半年ほどが過ぎていました。

その後、神や組織に反発し、ビジネスに打ち込みましたが、上手く行っているその頂点で自分の姿に異

離めし、ビジネスからも離れました。その後は急降下で、目標を無くし隔離のように生きていました。それでも世の中はどんどん悪くなっていくのが分かりますし、悪魔が支配しているのは明らかですから、預言通り自分も滅びると思いながらも聖書が忘れられず、YouTube を毎日見て、聖書をだけ学んでいたら良いと半ば開き直っていました。ある日、イエス様の「集まり合いなさい」という言葉に出逢い、教会に行きたいと思うようになりました。この頃はアドベンチスト関係の YouTube だけ見ていましたので、もしかしたら本当の教会かも、という期待を持っていました。それで、思い切って訪問し、聖書研究をお願いしました。

柳先生の聖書研究は強烈で、自分の価値観がひっくり返り、打ち破られました。ところが、神様の愛についての教えが、なかなか心に入ってきません。心の真ん中にドロドロとした何かがあり邪魔をしているのです。それから、真剣に祈るようになりました。神様に対してずっと持っていた怒りがあったのですが、それを神様に申し上げたら、すっとドロドロとしたものが消えてきました。「愛を知りません」「罪の意味も分かりません」とも祈ったら、すぐに教えられました。自然界は神様の愛の証拠に満ちていて、自分そのものが罪であることに気づきました。ドロドロとした過去の罪が次々と出てきました。心はヨレヨレになりましたが、悔い改めると爽やかにされました。これらの全ての事が奇跡のようでした。また、自分の過去を恥じる思いを持っていましたが、経験した事には何か意味があるに違いないと思えるようになりました。その経験も神様に用いていただけるならこれ程嬉しい事はないと思い、現在も喜びのうちに学びをしておられます。

その後、Yさんはバプテスマを受けられました。

文書伝道部 次長 池田義生

■お知らせ

■活動報告書における報告の詳細についてのお知らせ

無料配布物：文伝者 A／B どちらの方も、無料配布物の数はトラクトの欄に記入してください。ただし、文伝者 B の方は、無料配布した書籍のタイトルと冊数を記入して報告してください（金額は記入しないでください）。

活動時間：書籍の紹介・販売のための活動時間に加え、文書伝道を通して聖書研究に導かれた方と聖書研究をした時間数も報告していただいて結構です。

■新刊『薬のいらないカラダのつくり方』発売のお知らせ

2020年～2022年の3年間、サインズで連載してくださった宇田川久美子さんの新刊『薬のいらないカラダのつくり方』が出版されます。4月18日（火）から注文開始となります。

税込み定価 1650円（1500円+税）、文伝者価格は税込み 825円です。是非ご利用ください。

■文書伝道部全国大会開催予定のお知らせ

5月12日(金)～14日(日)に文書伝道全国大会を開催予定です。

再登録いただいた方に大会の招待状・案内状のいずれかをお送りしました。申し込みがあった方で、公共交通機関を利用する方には、お越しになる方法や送迎車の利用を確認するための用紙を同封しております。

お手数ですが、ご確認の上、ご返答くださいますようお願いいたします。

なお、大会の参加申込は締め切りが過ぎましたが、事情により申し込みが遅れている方は、文書伝道部までご連絡ください。

今回の大会は、対面で行います。横浜までお越しになれない方のためにオンライン配信を予定しておりますが、ご視聴のみとなります（ご発言等はできません）のでご了承ください。可能な方は、ぜひ会場までお越しくださいますようお願いいたします。

■サインズ 121周年感謝会とサインズ講演会開催のお知らせ@立川教会

現在、文書伝道部では、121年にわたるサインズを通しての文書伝道の歴史を振り返り、神様に感謝する式典を、5月28日(日)に立川教会で行うことを計画しています。100名様限定で記念品も準備させて頂いております。事前の参加申込は不要です。どうぞご参加ください。

また、これに先立ち、2023年にサインズで連載された五十嵐弘志さんによる講演会が、5月27日(土)15:00～、立川教会との共催で行われる予定です。チラシを2枚同封いたしました。どうぞご利用ください。

講演会時には、商品の見本を手に取ってご覧いただけるブースを設ける予定ですので、ぜひ皆様のお客様をお連れください。ただし安息日なので、その場での販売はいたしません。関心をお持ちになった書籍がありましたら、後日ご対応いただければ幸いです。なお、福音社のホームページから通販での購入をご案内するチラシをお渡しする予定です（このチラシを使ってお客様が書籍等を購入されても、活動報告書への報告事項にはならないことについて、あらかじめご了承ください）。

■トラクト注文数の上限について

トラクトを皆様にお用いいただく目的で、文書伝道者用の無料トラクト（送料自己負担）は、1種類の注文上限枚数を800枚とさせていただきます。登録資格（AとB）によるトラクトの注文枚数の上限に差はありません。配布したトラクト枚数は必ず報告書にてご報告くださいますようお願いいたします。また、トラクトのみご注文の際にはA4サイズ三つ折りトラクトの場合

は、2400枚で1箱に収まります。それ以上ですと2口になってしまい、送料が多くかかりますのでご了承ください。「宗教に頼らない生き方」のトラクトはサイズが異なりますので、送料を確認なさりたい場合はABCにご連絡ください。

■『愛に出会った!』文伝者価格年内継続のお知らせ

昨年発行された『愛に出会った!』の文伝者価格を半額にすることについて、当初2023年3月末までとしておりましたが、2023年12月末までに延長いたします。どうぞご利用ください。

■『その「宗教」は本物か』販促キャンペーン特典対象者のお知らせ

3月末までの一般販促キャンペーン対象者は吉田吉雄さんです。

2022年発売から、2023年3月末までの時点で、文伝者による報告冊数は**983冊**を頂いております。

もう少しで文伝者による配布・販売数**1000冊**達成します。皆様の尊いお働きを感謝いたします。

■あかし

西野友恵（天沼教会）

豊田さんと関町付近を再訪問して、お会いできた方がいました。その方に、以前手作りのブローチを頂いたお話をしていたら、「また作ってあげるからね」と言ってくださいました。お祈りしてお別れしました。次にお会いできた方は、お子さんを東京三育に入っていた方でした。最後に、「今後関町教会に行くわ」と言われ、タイムリーな再会を神様に感謝しました。

花田恵彦（福音社編集長）

『その「宗教」は本物か』を読んで立川教会に来られ、聖書研究を始められた80代のご婦人がおられます。私たちは自分の出した書籍がどこでどのように読まれ、用いられるか分からぬのですが、この働きの素晴らしさを改めて感じ感謝します。現在週に1度聖書研究をしています。

■月間報告

聖書通信講座申し込み（3月） : 1件 （2023年累計 3件）

最も販売数の多かった本（3月）

第1位 :	『人生という舞台が回るとき』	(64冊)
第2位 :	『みことばBOOK』	(23冊)
第3位 :	『愛に出会った!』	(21冊)

■祈りのテーマ

※日々聖霊を求める祈りを通して個人的リバイバルが与えられますように

※新型コロナウィルスの感染拡大が終息しますように

※継続した文書伝道者の働きが神様の御心の内に拡大しますように

※全国の文書伝道者の働き、またユースラッシュがコロナ禍でも進展していく様子に
※文書伝道に献身する新しい志願者が与えられますように
※福音社の数少ない編集部員の健康が支えられ、出